

```

*****
**                                     **
**                               ソフトウェア説明書                               **
**                                     **
**                               x64-Linux版                               **
**                               SIMPLIA/TF-LINDA (Symfoware)                **
**                                     **
**                               V50L30 (50.30.0.0)                          **
**                               <クライアント側>                            **
**                                     **
*****

```

ソフトウェア説明書は、製品の取り扱い、ご使用に際して特に注意すべき事項、参考となる情報等を記したものです。製品のインストール前に必ずお読みください。

本ソフトウェア説明書は、クライアント側に関する説明を記載しています。サーバ側のインストール及び環境設定等については、サーバ側のインストールガイドをお読みください。

本ソフトウェア説明書は、以下の構成で記述されています。

1. 製品概要
2. オンラインマニュアルについて
3. ソフトウェア組合せ条件
4. サンプルデータでの動作確認手順
5. インストール手順
6. アンインストール手順
7. エンハンス事項
8. 旧版からの移行について
9. セキュリティについて
10. その他のSIMPLIA製品
11. 補足事項

なお、本ソフトウェア説明書では、各製品を次のように略記しています。あらかじめご了承ください。

- ・ 「Windows (R) 7 Home Premium」または、「Windows (R) 7 Professional」、
「Windows (R) 7 Enterprise」、 「Windows (R) 7 Ultimate」
→ 「Windows 7」
- ・ 「Windows Vista (R) Home Basic」または、
「Windows Vista (R) Home Premium」、
「Windows Vista (R) Business」、
「Windows Vista (R) Enterprise」、
「Windows Vista (R) Ultimate」
→ 「Windows Vista」
- ・ 「Microsoft (R) Windows (R) XP Professional operating system」または、
「Microsoft (R) Windows (R) XP Home Edition operating system」
→ 「Windows XP」
- ・ 「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard」または、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard without Hyper-V(TM)」、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise」、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM)」、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Foundation」
→ 「Windows Server 2008」
- ・ 「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Standard」または、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Enterprise」、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Foundation」
→ 「Windows Server 2008」または「Windows Server 2008 R2」
- ・ 「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Standard Edition」または、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Enterprise Edition」
→ 「Windows Server 2003」
- ・ 「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Standard Edition」または、
「Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Enterprise Edition」
→ 「Windows Server 2003」または「Windows Server 2003 R2」
- ・ 次の製品すべてを指す場合は、「Windows」と表記しています。
Windows (R) 7 Home Premium
Windows (R) 7 Professional
Windows (R) 7 Enterprise
Windows (R) 7 Ultimate
Windows Vista (R) Home Basic
Windows Vista (R) Home Premium
Windows Vista (R) Business
Windows Vista (R) Enterprise
Windows Vista (R) Ultimate
Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Standard
Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Enterprise
Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 R2 Foundation
Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard

Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Standard without Hyper-V(TM)
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Enterprise without Hyper-V(TM)
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2008 Foundation
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Standard Edition
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Standard Edition
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003, Enterprise Edition
 Microsoft (R) Windows Server (R) 2003 R2, Enterprise Edition
 Microsoft (R) Windows (R) XP Professional operating system
 Microsoft (R) Windows (R) XP Home Edition operating system
 ・次の製品すべてを指す場合は、「Internet Explorer」と表記しています。
 Microsoft (R) Internet Explorer 6
 Microsoft (R) Internet Explorer 6 Service Pack 1
 Microsoft (R) Internet Explorer 7
 Microsoft (R) Internet Explorer 8

1. 製品概要

1. 1 SIMPLIAとは？

SIMPLIA(SIMple development & maintenance support Program Lbraries for Application system)は、アプリケーション開発・保守作業を支援するツール群の総称です。
 SIMPLIA製品を導入することにより、作業効率アップ・生産性/品質向上などの効果が期待できます。

SIMPLIA製品は、機能別に以下の体系に分類されます。

| | |
|--------|--|
| PFシリーズ | 主にプログラム設計工程をサポートします。 プログラム設計書自動出力ツール |
| TFシリーズ | 主にテスト工程をサポートします。 テストデータ作成支援ツール、コード変換ツール など |
| VFシリーズ | テスト結果の確認作業等の検証作業をサポートします。 ファイル内容比較ツール |
| DFシリーズ | 各種ドキュメントを出力します。 クロスリファレンス、ファイルレイアウト、ジョブフロー など |
| MFシリーズ | 主に保守・管理工程をサポートします。 プログラムステップ計測ツール |
| JFシリーズ | Java開発のテスト/保守工程を支援します。 規約チェック、画面開発支援ツール など |

1. 2 SIMPLIA/TF-LINDA (Symfoware)とは？

SIMPLIA/TF-LINDA(Symfoware)は、アプリケーション開発支援システムの1つであり、サーバ/クライアントでの動作により、テストデータの作成、検証を支援します。
 サーバ上のSymfowareデータベースのテーブルをテーブル定義に基づき、項目単位に操作（編集/検証）することができます。

<基本機能>

| 基本機能 | 機能概要 |
|-----------|--|
| データ編集 | |
| ー更新モード | 既存テーブルに対してデータを更新します。 データの追加、削除、複写およびデータ内容を更新します。 |
| ー表示モード | 既存テーブルのデータを表示します。 データ参照のみの目的に使用できます。 |
| ー追加モード | 既存テーブルに対してデータを追加します。 データ追加のみに限定することで効率よく処理が可能です。 |
| 印刷 | 編集中のデータ内容を一覧形式イメージで印刷します。 |
| 16進編集 | 各列のデータ属性に沿った表示/編集だけでなく、 16進数により表示/編集を行うことができます。 |
| MPORT連携機能 | 編集データを変換したコード、ファイル形式に変換して 出力が可能です。 CSV形式ファイルからの取込みも可能です。 |

1. 3 製品構成

製品はCD-ROMで提供されます。
 なお、マニュアルはありませんので、使用方法、動作確認手順については製品本体に組み込まれているオンラインマニュアルを参照してください。

- ・提供形式：CD-ROM × 1枚

- － 製品本体
 <server>フォルダ・・・サーバ側インストール媒体
 <client>フォルダ・・・クライアント側インストール媒体

1. 4 ハードウェア条件

| カテゴリ | 要件 |
|--------------|---|
| 動作マシン | Windows XP, Windows Vista, Windows 7, Windows Server 2003, Windows Server 2008 が動作するマシン |
| 動作可能メモリ容量 | 16MB以上 |
| 格納先ハードディスク容量 | 10.0MB以上 |

※ハードディスク容量は、機能選択やハードディスクの属性（クラスタなど）により異なりますので、注意してください。

2. オンラインマニュアルについて

本製品には、以下のオンラインマニュアルが含まれています。

- － SIMPLIA/TF-LINDA RDB連携版 オンラインマニュアル

※HTML形式のマニュアルを参照するには、HTML3.2をサポートするWWWブラウザをお使いください。
 (2009年12月現在、オンラインマニュアルの参照用ブラウザとしては、Internet Explorer 8を推奨します。)

- － オンラインマニュアルをInternet Explorer 7で表示した場合、拡大・縮小によってレイアウトが崩れる場合があります。その場合、ブラウザの更新ボタンで再表示を試みてください。

3. ソフトウェア組合せ条件

3. 1 必須ソフトウェア

| ソフトウェア | 要件 | 備考 |
|--------|---|------------------|
| OS | Windows XP SP3 Windows Vista SP2 Windows 7 Windows Server 2003 R2 SP2 Windows Server 2008 SP2 | 左記のいずれかのOSが必要です。 |

3. 2 関連ソフトウェア

| ソフトウェア | 要件 | 備考 |
|--|----------------------------|--|
| ADJUST または SystemWalker/ CharsetMGR (最新版はInterstage製品) | V2.1L10以降 V5.0L10以降 | 日本語データのコード変換機能を提供し日本語データの流通を支援します。 ADJUSTを使用した変換を行う場合に必要です。JEFコードの変換や利用者定義文字の変換を行うのであればADJUSTを使用してください。 |
| SIMPLIA/TF-MDPORT | V60L10以降 | 編集データを他形式（コード、データ構造、ファイル編成等）に変換することができます。 (MDPORT連携) MDPORT連携で、Unicodeデータ、XML形式ファイルを扱う場合に必要です。 |

4. サンプルデータでの動作確認手順

サンプルデータは添付されていません。

5. インストール手順

5. 1 アイコンおよびフォルダについて

★インストールが終了すると、グループ「SIMPLIAシリーズ」の「TF-LINDA(Symfoware) x64-Linux GL V50」の配下に以下のアイコンが作成されます。

- － SIMPLIA/TF-LINDA RDB連携版 オンラインマニュアル
- － SIMPLIA TF-LINDA(Symfoware) x64-Linux GL ソフトウェア説明書
- － SIMPLIA TF-LINDA(Symfoware) x64-Linux GL

★インストールが完了すると、インストールしたシステムのレジストリ情報にインストール情報が格納されます。

★インストールが完了すると、以下のディレクトリ構成で関連するファイルが格納されます。

TF-LINDA_Symfoware_x64-Linux_GL : 製品モジュールが格納されます。

| | |
|------|---|
| TEMP | : 作業フォルダとして利用します。(空ディレクトリ) |
| HELP | : HTML形式のオンラインマニュアルが格納されます。 lss_idx.htm [起動ファイル] |

★以下の共通ファイルを必要とします。インストール時に、Windowsのシステムフォルダ配下にあるシステムファイルのファイルバージョンがインストールするシステムファイルより古い場合、システムファイルの更新を行います。

| | |
|--------------|---------------|
| MFC42.DLL | 6.0.8665.0 |
| MFC42U.DLL | 6.0.8665.0 |
| MSVCRT.DLL | 6.0.8797.0 |
| STDOLE2.TLB | 2.40.4275.1 |
| ASYCFILT.DLL | 2.40.4275.1 |
| REGTLIB.EXE | |
| REGSVR32.EXE | 5.0.1641.1 |
| SHFOLDER.DLL | 5.50.4027.300 |

※OSの仕様により一部のファイルが更新されない場合がありますが、製品の動作上は問題ありません。

5. 2 インストール時の注意事項

- － 当製品はAdministrator権限のあるユーザでインストールを行ってください。Administrator権限のないユーザでインストーラを起動した場合、インストールが正常に終了しないことがあります。
- － 実行中のアプリケーションをすべて終了した後に、当製品をインストールしてください。終了しない場合、インストールに失敗することがあります。
- － コンポーネント選択画面で指定するインストール先は、フルパスで指定してください。
- － インストール先の選択画面でインストール先を指定して次画面に遷移した後に、「戻る」ボタンで再度、インストール先の選択画面に戻ってインストール先を変更指定すると以前に指定していたフォルダが作成されたままになることがあります。
- － 選択されたコンポーネントのファイル複写中に「キャンセル」を選択したとき、その選択が有効になるのは、複写中だったコンポーネントに対してのみです。以降のコンポーネントのインストール処理は続行します。
- － インストール時に十分な空きディスク容量があっても、ディスクの属性（セクタなど）によりファイル複写中に容量不足が発生することがあります。この場合、既に複写されたフォルダやファイルを削除した後、インストール先のドライブを変更するか、更に十分な空きディスク容量を確保した上で、再インストールを行ってください。
- － 再インストールする場合には、ハードディスクの空きスペースが10MByte以上あることを確認してから行ってください。
- － インストール先にドライブルートは指定しないでください。正しくインストールされない場合があります。

5. 3 インストール

- (1) Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2003またはWindows Server 2008を起動します。
- (2) 実行中のアプリケーションをすべて終了してください。
- (3) 製品CD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。
- (4) CD-ROMの“client”フォルダ配下にある“setup.exe”を実行してください。
- (5) 以降、画面に表示される指示に従って、インストールを進めてください。

6. アンインストール手順

6. 1 アンインストール時の注意事項

- － アンインストールは、製品のインストーラにより作成された環境、および複製されたファイルに対してだけ削除処理を行います。製品の使用などにより作成された環境およびファイルに対しては削除処理を行いません。
- － インストール先フォルダがドライブ名直下でない場合、インストール時に指定したフォルダが残る可能性があります。このフォルダは削除しても構いません。
- － アンインストール後、製品フォルダが残っている場合があります。このフォルダは削除しても構いません。ただし、他製品と連携して使用しているコンポーネントは注意してください。

6. 2 アンインストール

- － Windows XP、Windows Server 2003 の場合

[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。[プログラムの追加と削除]のアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従ってアンインストールを進めてください。

- － Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 の場合

[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。コントロールパネルホーム画面にて[プログラムのアンインストール]をクリックし、画面に表示される指示に従ってアンインストールを進めてください。

7. エンハンス事項

ありません。

8. 旧版からの移行について

ありません。

9. セキュリティについて

当製品はイントラネット環境下で使用してください。

10. その他のSIMPLIA製品

- － SIMPLIA製品に関する最新の情報は、下記のURLアドレスに示すホームページに記載されています。

URL: <http://software.fujitsu.com/jp/simplia/>

- － 障害情報については、下記に記載されています。随時ご確認ください。

URL: <http://software.fujitsu.com/jp/simplia/service/trouble/>

1.1. 補足事項

1.1.1 制限事項

- JIS2004の4バイトコードで表現される文字を使用した場合は、正しく動作いたしません。
 - 入力項目に入力した場合
 - 文字を含むフォルダ名、ファイル名を選択した場合
 - 文字を含むデータを入力した場合
- MDPORト連携機能でXML形式ファイルをインポートする場合には、TF-MDPOR V70L20 (詳細バージョン: 70.20.0.0)以外のTF-MDPORを利用してください。
- TF-LINDAのクライアントを多重起動した場合、環境設定を変更することができません。環境設定を変更する場合は、TF-LINDAのクライアントを1つだけ起動して変更してください。
- TF-LINDAは、IPv6環境下では利用出来ません。IPv4環境下でご利用ください。
- その他SIMPLIA/TF-LINDAの制限事項・注意事項については、オンラインマニュアルの「制限事項/注意事項」のページを参照してください。

1.1.2 注意事項

- インストール時に作成されるファイルは、アンインストール以外での削除はしないでください。
- TF-LINDAクライアントとTF-LINDAサーバは、同一製品・同一V/Lでないと接続することができません。
- ターミナルサーバへのインストール時の注意事項
Windows Server 2003、Windows Server 2008のターミナルサービスおよび、Citrix (R) MetaFrame (TM) 上で本製品を利用する場合、ターミナルサービス/MetaFrameを同時に利用するクライアント台数分のライセンスの購入が必要です。

Change user/Install . . . Installモードに変更する。
Change user/Execute . . . Application実行モードに変更する。
Change user/Query . . . モードを表示する。

なお、本製品のインストール後は、Application実行モードに戻してください。

1.1.3 ハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

— 以上 —

-
- Microsoft、Windows、Visual Studio、Visual Basic、Windows VistaおよびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Citrix、MetaFrameは、米国Citrix Systems Inc. の商標または登録商標です。
 - Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
 - Intel、インテル、Itanium、Intelロゴ、Intel Itaniumロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
 - Red Hat、RPMおよびRed Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
 - その他の会社名および製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

本文中の記載内容は予告なしに変更される場合があります。
本製品におけるソースコードは弊社または開発会社の秘密情報です。

弊社に無断でソースコードを第三者へ開示することを禁止します。

Copyright 1994-2010 FUJITSU LIMITED
